

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらい人。”
任命しました！



ふくし“きらい人。”牛崎 絢子 さん

Contents

- 2 3 「e スポーツ」で高齢者の新たな
生きがいづくり
- 4 5 地域における公益的な取組について
～土浦市民間社会福祉施設協議会
活動紹介～
- 6 7 ふくし“きらい人。”
社会福祉法人共生社 あじさい学園ホーム
牛崎 絢子さん
- 8 茨城県福祉人材センターにおける
福祉人材確保への取組み

- 9 社会福祉事業従事者研修のご案内
- 10 ・日常生活自立支援事業の利用料が
変わりました
・福祉サービスを利用している方
へのお知らせ
・福祉サービス苦情解決研修会のお
知らせ
・第 75 回茨城県社会福祉大会を
開催します
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニ
ティづくり県民運動」のキャラク
ターとして茨城県社会福祉協議会、
茨城県内の市町村社会福祉協議会
を中心に活躍しています。

「eスポーツ」で高齢者の新たな生きがいづくり



Let's enjoy e-sports!! 🎮

eスポーツサロンの活動風景。参加者の皆さんが笑顔でゲームに熱中し、活気に満ちた交流が生まれています。

🎮「eスポーツ」は新しい交流のかたち

「eスポーツ」とは、Electronic sports（エレクトロニック・スポーツ）の略で、ゲーム機などの電子機器を使って対戦する競技で、気軽に誰でも楽しめる新しい交流ツールとして注目されています。近年はシニア向けの大会やイベントも各地で開催され、より関心が高まっています。茨城わくわくセンターでは、コロナ禍で外出の機会が減った高齢者の新たな生きがいづくりとして、令和4年度から「eスポーツ事業」をスタート。県内の高齢者施設や自治会などでも、eスポーツを活用した交流の取り組みが広がっています。

🎮体験してみよう！eスポーツ体験会

6月12日（木）、水戸市のセキショウ・ウェルビーイング福祉会館（茨城県総合福祉会館）において、今年度2回目となる「eスポーツ体験会」を開催、60歳から87歳までのeスポーツ未経験者17名が参加しました。オリエンテーションの後、脳トレクイズを交えながらeスポーツの概要や効果について説明。準備体操として、シルバーリハビリ体操を行い、いよいよゲーム体験へ。

体験したゲームは、「グランツーリスモ7」「太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル」「ぷよぷよeスポーツ」の3種類。「eスポーツサロン」に継続して参加しているボランティアによるデモンストレーションの後、全員が挑戦し、笑顔と声援が飛び交う楽しい時間となりました。



みんなで画面に注目！「ぷよぷよ」で考える楽しさを共有。



笑顔でハンドルを握り、白熱したレースを楽しむ参加者たち。

🎮 継続的な交流の場「e スポーツサロン」

6月27日（金）には、同会館で今年度3回目となる「e スポーツサロン」の初心者コースを開催。体験会参加者24名が参加し、前回同様3種目のゲームにチャレンジしました。初参加の72歳男性は「友達にさそわれて参加したが、頭の体操になるし面白い」と話し、今回は3回目の80歳女性は「できないことこそ挑戦したい。楽しいし頭を使うのがいい、これからも続けたい」と意欲的です。「e スポーツサロン」はもっと楽しみ上手になりたいという参加者を対象としたレベルアップコースも開催しています。



サロンではスタッフが丁寧にサポート。頭を使う「ぷよぷよeスポーツ」も楽しみながら上達を目指します。

🎮 ゲームで広がる笑顔とつながり

e スポーツは、対戦や観戦を通じた新たな出会いから多様な交流へとつながり、そこから生まれた幸せな時間を、そして家族や友人とも楽しい時間を共有できます。茨城わくわくセンターでは、初心者向け体験会を年2回、サロンを月2回開催。また、学生との交流会を年1回、市町村社協との共催による体験会も実施しており、お住まいの地域で継続的に実施できるように取り組み支援もすすめています。

あなたも「e スポーツ」に参加し、健康的で楽しい時間を多くの人と共有してみませんか？



R7.8.8「e スポーツ多世代交流会」全員で記念撮影。



水戸啓明高等学校の生徒も運営に協力した「e スポーツ多世代交流会」の様子。

今後の開催情報やお問い合わせはこちら！
茨城わくわくセンター
電話：029-243-8989



体験会 You Tube

ゲームタイトルの権利表記

Gran Turismo 7: © 2025 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.

太鼓の達人 ドンダフルフェスティバル: 太鼓の達人™ ドンダフルフェスティバル & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

ぷよぷよeスポーツ: © SEGA



地域における公益的な取組について

土浦市民間社会福祉施設協議会 活動紹介

「社会福祉法人」は、高い公益性と専門性のもと、各法人が様々な社会福祉事業を行っています。

平成28年の社会福祉法の改正により、法人で行っている社会福祉事業だけでなく、これまで培ってきた専門性を生かした、地域住民を支えるための地域の新たなニーズに応える取り組みを行うことが、社会福祉法人の責務として規定されました。

この様な取り組みの先駆者である、土浦市民間社会福祉施設協議会の活動をご紹介します。

土浦市民間社会福祉施設協議会 会長 上方 仁さん

土浦市民間社会福祉施設協議会 事務局長 飯島 明美さん

土浦市内の社会福祉施設が一つになり平成19年に発足

土浦市民間社会福祉施設協議会発足の中心となったのは、同市で児童養護施設を運営する社会福祉法人窓愛園の理事長である上方仁さんです。茨城県社会福祉法人経営者協議会の会長を務めていた時に、福祉施設による社会貢献の意義と重要性を感じ、協議会発足に向けて動き出しました。「私たち各法人は、これまで本業以外に地域の清掃や催事の手伝い、施設の一部提供などを通じて地域のために努力してきました。しかし、一法人としてできることは限られており、土浦市や土浦市民のために奉仕するには、市内の全法人が結束した方がより幅広い活動ができるのではないかと考えました」と上方さん。同協議会独自の事業に加えて、土浦市や土浦市社協の事業の一端を担い貢献することを提案し、土浦市社協の賛同を得て、各法人に説明に回りました。約40の施設に声かけをしましたが、訪問先では「なぜ、忙しく人手不足の中で社会貢献なのか」「自分たちの事業は十分に社会に貢献している」という意見もあり、発足までの話し合いが一番苦労をされたとのこと。時間をかけて話し合いを続け、平成19年春に市内全法人の了承を得、10月27日に発足式を行いました。



上方 仁 会長

買い物支援や学習支援、施設の特性を生かした活動を展開

最初に取り組んだのは、活動資金を集めるためのチャリティバザーでした。「会費は集めましたが、さらにプラスして活動資金を得るために、各施設が持っている生活用品の洗剤やタオルなどを安い値段で販売しました。オープン前からたくさんの人が集まり大盛況でした」と当時を振り返ります。現在も土浦市内の児童養護施設・特別養護老人ホーム・障害者施設・保育所など約40法人が加入し活動しています。



飯島 明美 事務局長

発足から18年目となる現在、力を入れている活動の一つは買い物支援です。「土浦市内も独居の高齢者が増えたり、路線バスが廃止になったりしています。買い物をしても持ち帰るのが大変という方を、ヘルパーと一緒に家まで迎えに行き、買い物をして家まで送ります。自分で見え、欲しいものを買いたいという要望に応えるもので好評です」と、事務局長の飯島さん。会員施設がそれぞれ車を所有し、高齢者用のリフト付きの車もあるので、それらを活用しての活動となっています。買い物難民と言われる方は今後も増えていくの

で、さらに力を入れていきたいとのこと。ほかにも、生活困窮世帯の子どもたちのために、スペースのある施設が学習支援の場を提供するなどしています。

土浦市社協の活動にも協力し、障害者キャンプの同行、子ども対象のヘルパー講座やボランティア講座を開いたりと幅広い活動をしています。市内全ての福祉施設が加入している協議会だからこそ、施設単独ではできない事業にも取り組めるということが特徴です。

それぞれの施設で働く職員の交流も目標の一つ

同協議会の組織の中には、職員交流部と職員研修部があります。「市内全ての児童・高齢・障害分野の法人が集合している協議会はめずらしく、全国にも多くはありません。その特性を生かして、様々な交流をしていくことも一つの目標にしています。そこで設けたのが、職員交流部と職員研修部です」と話す上方さん。特色ある施設の見学会や研修会を行ったり、ボウリング大会などを開催し職員交流に力を入れています。働く職員の人たちが「一人じゃないんだ」と思えるように、懇親も含めて結束していけるように力を入れているということです。市内に暮らす様々な手助けを必要とする人々のため、またその人たちを支える福祉の仕事をする人たちのことを思いつくられた協議会です。



学習支援

災害時の福祉的協力体制づくりに取り組む

同協議会には災害連携部があり、災害時における福祉的協力を行っています。「災害が起きた時に、多くの方が避難します。しかし、障害等がある場合、一般的な避難所での生活が難しい場合もあります。そのような際に、協議会員の施設で受け入れできるよう、土浦市と協定を結んでいます。高齢者や障害者の支援を行うのは、専門分野ですから」と上方さん。災害から逃れても、その後に起こる災害関連死をなくしていきたいという強い思いがあります。

今後の目標は、「これからも、地域の人に喜ばれることをしていきたい」と飯島さん。上方さんは、「土浦市社協や土浦市の応援もあり、地域にも活動が知られるようになってきたので、それぞれの会員の得意と時間を生かして困っている人のお手伝いをしていきたい」と話されていました。

ふくしまっぴい。



うしざき あやこ
牛崎 絢子さん
社会福祉法人 共生社 あじさい学園ホーム
主任・支援員兼世話人



社会福祉法人共生社は、知的障害者の就労支援・生活支援を行っています。古河市と八千代町に事業所があり、事業所で製造したパンや工芸品などを販売する店舗や、新しく立ち上げたレストランを併設しています。古河市にある「あじさい学園ホーム」は、共同生活援助事業・短期入所事業を行い、障害のある方が地域において自立した日常生活を送れるようサポートをしています。同ホームに勤務する牛崎さんは、福祉の仕事に就いて28年目になるベテランスタッフ。「新卒で就職したのが、あじさい学園です。結婚・出産を経て子育てのためにこの仕事を辞めることにしましたが、非常勤だったら働けるのではないかと声をかけていただき、ぜひにと復帰しました。仕事を離れていた期間は2年ぐらい。20年以上八千代町の事業所にいて、

令和2年に古河市の事業所に異動になり、利用者と一緒にパンやカレンダーを作っていました。今のホームに異動したのは、今年度からです」とのこと。

施設実習をきっかけに障害者福祉の道へ

牛崎さんが進学した短大の幼児教育科には、保育士のカリキュラムに施設実習があり、重度の障害者施設で、2週間泊まり込みの実習をしました。「重度の障害がある方達なので支援も難しくハードでしたが、利用者と一緒にご飯を食べるなどして、楽しく実習を終えることができました。そこで働いていた若い女性が、すごくきびきび生き生きと仕事をしていて、格好いいなと感じました。その後幼稚園実習もありましたが、幼児教育よりも障害者福祉の方がいいと思い、あじさい学園を知って

「ありがとう、直接言ってもらえることが福祉の仕事の魅力」



いたこともあり、就職しました」と、福祉の仕事に就いたきっかけを話してくれました。

現在の仕事は、グループホームで生活面のお手伝いを中心に利用者の支援をしています。平日は朝出勤して朝食の準備、利用者が仕事に行く準備のお手伝いをします。「ほとんどが自分でできる方達なので、『もう少しで時間だよ』と声をかけて遅刻しないように送り出します。休日には、一緒に買い物に行ったり、食事を3食用意しますが、利用者も手伝ってくれます」。グループホームは隣り合わせて4棟あり、10代から50代まで30名の利用者が入居。各棟に支援員が常駐し、スタッフ20人ほどが関わっています。

利用者の気持ちに寄り添う「あやこママ」



利用者たちからは、「あやこママ」と呼ばれるという牛崎さん。利用者の成長を見届けられること、変化を感じることが仕事のやりがいになっていると言います。「コミュニケーションが、取れるようになるのが嬉しいです。ほとんど話さなかった方が、5年ほど経ったら急に『おはよう』と言ってくれるようになった。慣れてなかったから挨拶してもらえなかったのが、向こうからしてくれるようになった時は嬉しかったです」。そんな牛崎さんも、仕事で悩むときがあります。「話をするだけで気持ちをうまく伝えられない方が多いので、気持ちが読み取れない、わからない、どんなことを思っているのか、という時には悩みます。その時には、スタッフみんなで共有し話をし、みんなの意見をまとめて方向性を考えていきます」と解決法を話してくれました。

純粋な利用者に救われることがある

牛崎さんには、利用者との心に残る思い出があります。それは、この仕事に就いて間もない頃、



仕事で壁にぶつかりどうしたらいいかと悩んでいた夜のことでした。「ある利用者が、『あやちゃん、星がきれいだよ』と言ってくれたのです。そんなにしゃべらない方なのですが、一緒に星を見て泣きました。みんなすごく純粋で救われることが多いし、みんな優しいので私の体調を気遣ってくれたりして、一緒に支え合っています。そんなことが、たくさんあります。みんな、守られて愛されて育ててきたから優しいんだと思います」とあたたかい思いを伝えてくれました。

日々、たくさんのありがとうが聞ける仕事

福祉の仕事の魅力は、「自分のしたことに対する成果や効果が見られて、直接『ありがとう』と言ってもらえることが魅力です。日々、たくさんの『ありがとう』を聞いてきました」と牛崎さん。福祉の仕事を検討中の方へのメッセージは、「人に興味があれば向いている仕事です。相手の気持ちを想像できる人なら大丈夫、とにかく飛び込んでみて、利用者の純粋さに触れてほしい」とのことです。牛崎さんの今後の目標は、「今までの経験をうまく後輩たちに伝えていくこと、サービス管理責任者や社会福祉士の資格にチャレンジしていきたいです」と、福祉とともに歩む日々はこれからも続きます。



県社協（茨城県福祉人材センター）における 福祉人材確保への取り組み

高校生に聞きました！～福祉の職場体験～

茨城県福祉人材センターでは、福祉の仕事の魅力ややりがい、具体的な仕事内容や雰囲気に触れてもらうため、福祉の職場見学・体験事業を実施しています。

今回、「株式会社トゥルーケア トゥルーケアグループホームばなな（水戸市）」と小林依千夏さん（高校2年生）の協力により、実際に体験している様子取材させていただきました。

小林さんは、もともと人と接することが好きで、誰かの力になりたいとの思いがありました。福祉の専門学校のオープンキャンパスで利用者と触れ合う機会があり、そこで福祉の職業に対して良い印象が生まれ、この夏、職場体験に参加することにしました。

体験中は、特に「利用者と関わる時に相手に寄り添ったり、会話などをしながら接すること」を心がけていたという小林さん。この思いは施設担当者にも伝わり、「入居者と一生懸命関わっている様子が見られた。小林さんと一緒にいた入居者は笑顔になり、楽しそうに過ごされていた。」との感想を伝えてくれました。

「人はみんな違うのは当たり前だけど、利用者一人ひとり、何かを抱えたりしても、話したりするだけでその人自身の性格が少し見えたり、その人の良さが分かった気がします」と気づきを得た小林さんの職場体験でした。



入居者と一緒にぬり絵



昼食の配膳準備

見学や体験には資格や経験は不要です。
あなたも福祉の仕事に触れてみませんか！

職場体験の申込はこちら▶



福祉のお仕事 就職相談会 in 水戸を開催しました！

7月19日（土）、水戸市民会館において、「福祉のお仕事 就職相談会 in 水戸」を開催しました。開催形式を二部制（午前・午後）とし、83名（内、学生15名）に参加いただきました。

出展した53法人・4団体の各ブースには、終日、熱心に相談する参加者の姿が見られました。高齢者分野の法人をはじめ、障害・児童・保育・社会福祉協議会など、様々な分野の法人から話を聞くことができ、充実した時間であった、とのお声もいただきました。



相談が殺到するブースもありました。



学生も様々な分野のブースを回っていました。

今後の開催予定は、二次元コードからご確認ください！
皆様の参加をお待ちしております。



社会福祉事業従事者研修のご案内

茨城県内の社会福祉施設・事業所等に従事する役職員の更なる資質向上を図るため、職種別・階層別にさまざまな研修を実施しています。

組織として、職員の資質向上・定着の観点からも、研修計画を立てて取り組みましょう。

今年度は45本の研修を開催予定です。研修システムページに、今年度の研修体系表及び月別予定表を掲載しています。

◎令和7年11月～令和8年1月開催の研修

11月	7日	虐待をしないためのスピー チロック防止研修Bコース	集合型
	13日	チームリーダー研修Bコース	集合型
	17日	ハラスメント研修 (アサーションスキル)	集合型
	27日 ～ 28日	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程(中堅職員編) Aコース	集合型

1月	14日～ 3月13日	決算実務講座【新規】	録画配信
	16日	個人情報及びプライバシー 保護に関する研修	ライブ及び 録画配信
	19日	福祉現場で生かせる レクレーション講座【新規】	集合型
	22日	アンガーマネジメント研修 Bコース	集合型
	27日	虐待防止研修 (高齢・障害分野)	集合型

12月	5日	コーチング研修Bコース	集合型
	11日	福祉現場における事業 継続計画(BCP) 訓練研修【新規】	集合型
	19日	業務改善力向上研修	集合型
	22日～ 2月20日	労務管理とコンプライ アンス研修	録画配信



詳細は「茨城県社協研修システム」ページ(右記二次元コード)をご覧ください。



▲研修システム
二次元コード

※研修により、申込期限や定員の設定があります。
※研修の中止や延期、あるいは実施方法を変更する場合があります。

問 福祉人材・研修部 TEL: 029-244-3755

令和7年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		
定員	基本補償(A型)	
補基本 償本 (A型)	1～50名	35,000～61,460円
	51～100名	68,270～97,000円
	100名以降1名～10名増ごと	1,500円
付見 舞 費 用 (B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定期行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

日常生活自立支援事業の利用料が変わりました

日常生活自立支援事業の利用料について、最低賃金の上昇等を理由に、次のとおり変更いたしましたので、お知らせいたします。

【日常生活自立支援事業利用料】

サービスの内容	現在の利用料（令和7年9月まで）	変更後の利用料（令和7年10月から）
福祉サービス利用援助 日常的金銭管理	1時間あたり 1,100円	1時間あたり 1,500円
書類預かり	1カ月あたり 500円	1カ月あたり 500円 ※変更なし

日常生活自立支援事業とは

認知症や障害（知的障害、精神障害）などにより判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用や日常的なお金の管理などを支援するサービスです。利用にあたっては、茨城県社協及び市町村社協と利用契約を結びます。また、サービス利用には利用料が必要です（ただし、生活保護を受給している方は、利用料が免除されます。）。

福祉サービスを利用している方へのお知らせ

福祉サービスを利用して困ったことや悩んでいることはありませんか？

そんなときは、まずサービスを利用している事業所の相談窓口にご相談ください。事業所では、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員が苦情への対応をしています。

なお、事業所で解決できない時や直接言いにくい時は、茨城県運営適正化委員会にご相談ください。事務局でご相談を受け付け、解決に向けたお手伝いをします。

＜茨城県運営適正化委員会（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）＞

専用電話 029-305-7193（平日 午前9時～午後5時） メールアドレス tekisei@ibaraki-welfare.or.jp

福祉サービス苦情解決研修会のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、毎年福祉サービス苦情解決研修会を行っていますが、各事業所への研修案内は、ホームページとメールで周知しております。

メールで研修案内を希望する場合は、茨城県社会福祉協議会のホームページにアクセスし、運営適正化委員会のページからメールアドレスをご登録ください。

※ 社会福祉事業従事者研修システムにご登録いただいている方へも、本研修の案内を配信する予定です。

【次回予定】 日時 令和8年2月12日（木）13:30～16:00 実施方法 オンライン（Z o o m）

※ 募集開始は12月中旬の予定です。詳しくは県社協HPでご確認ください。



▲メールアドレス登録フォーム

第75回茨城県社会福祉大会を開催します

茨城県の社会福祉の発展に貢献いただいた皆様を表彰する、第75回茨城県社会福祉大会を、以下の日程で予定しております。

今年度は民生委員・児童委員の皆様をはじめ、多くの方が受賞される予定です。式典に先立ちオープニングアトラクションとして茨城県立茎崎高校三味線部（つくば市）の皆様に演奏いただく予定としております。皆様ぜひご参加ください。

日時 令和8年1月20日（火）開会13時20分から（予定）

会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール（水戸市千波町東久保697番地）

広告

茨城県社会福祉法人経営者協議会入会のご案内

茨城県社会福祉法人経営者協議会は、県内における社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人等の相互啓発と連絡協調を図り、社会福祉法人等の健全な発達と社会福祉事業の発展に寄与することを目的とする団体です。

詳細につきましては、ホームページでご案内しております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

問 〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL029-350-8585 FAX029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp/keieikyo/>



INFORMATION

お知らせ

就職相談会に参加しませんか！

福祉のお仕事就職相談会では、施設・事業所の採用担当者や現場の職員のお話を気軽に聞くことができます。ぜひご参加ください。

鹿嶋市

高正U&Iセンターホール

11/30(日)

【個別相談会】

受付開始12:30

13:00～15:00

参加法人10法人程度
(高齢・障害・保育・児童)

日立市

ヒタチエ別館

12/7(日)

【求職者セミナー】

受付開始12:00

12:15～13:00

講師:ふくし“きりり人。”を予定

【個別相談会】

受付開始12:30

13:00～15:00

参加法人10法人程度
(高齢・障害・保育・児童)

参加を希望する方には事前登録をお願いしております！
(事前登録がなくても参加は可能です)



詳細情報・事前登録は
二次元コードから

固 茨城県福祉人材センター
TEL : 029-244-4544

お知らせ

未就学児保育料一部助成金のご案内

保育士・保育教諭及び幼稚園教諭として新たに就職した方に、未就学児の保育料の半額を助成します。

【募集期間】

令和7年10月28日(火)～
令和8年1月30日(金) 必着

【対象者】

以下の1から4全て満たす方(ただし、育児休業から復帰した方は対象外)

- 1 保育料の負担が生じる未就学児を養育している方
- 2 過去1年以上、保育所等または幼稚園等に勤務していなかった方
- 3 茨城県内の保育所等で、週20時間以上勤務する方
- 4 以下のいずれかに当てはまる方

(1)令和7年1月1日から令和7年12月31日までに新たに勤務する方

(2)令和6年度に当該助成を受け、その期間が12ヶ月未満であった方

(3)令和6年2月から12月の間に新たに保育所等に就職し、令和7年1月から保育料の負担が生じた方

【助成金額・期間】

保育料(月額)の自己負担分の半額(上限2万7千円)を最長で12ヶ月分

固 福祉人材・研修部
(人材自立育成担当)

TEL : 029-350-8366

お知らせ

茨城県交通遺児福祉基金 高等学校卒業等激励金 のご案内

交通事故により保護者を亡くされた、高校等を卒業する交通遺児の方に激励金30万円を贈呈します。

【対象者】

交通事故により保護者を亡くされた交通遺児で、次の①または②に当てはまる方

- ①茨城県内に居住しかつ、茨城県内の次の学校を令和8年3月に卒業予定の生徒
 - ・高等学校・中等教育学校
 - ・特別支援学校高等部
 - ・高等専門学校
 (3年生修了時)
- ②令和7年度 of 高等学校卒業程度認定試験で合格となった方

【贈呈金額】

30万円

【手続きに必要な書類】

- ①申請書
- ②交通事故による死亡確認のできる書類
- ③世帯の戸籍謄本
- ④住民票謄本
- ⑤学生証、在学証明書、卒業見込み証明書のいずれか

(高等学校卒業程度認定試験合格者は合格が確認できるもの)

【申請期間】

令和7年9月1日～

令和7年12月26日

固 福祉のまちづくり推進部
TEL : 029-243-3805

詳しくは
こちら⇒



わかち合おうみんなの善意<令和7年4月～令和7年6月善意金等の預託と払い出し状況>(敬称略)

善意金

預託者名	金額(円)
(株) ライズ	9,917
常陽ボランティア倶楽部	3,500,000
世界チョコレートフェスティバル実行委員会	50,000
茨城県年金協会	1,483
茨城県遊技業防犯協力会	1,500,000
合計	5,061,400



善意品

預託者名	善意品	払出先名
(公財) 報知社会福祉事業団	プロ野球公式戦観戦チケット 30枚	県内児童養護施設
(株) セブン-イレブン・ジャパン	食品・日用品等 50点	県内市社会福祉協議会
いばらきコープ生活協同組合	大人用紙おむつ・尿取りパッド 153個 子ども用紙おむつ 92個・粉ミルク 5缶	県内市社協・社会福祉施設
常陽ボランティア倶楽部	ポータブル電源・ソーラーパネル 40セット アルミ製折りたたみ式リアカー 4台	県内市町村社会福祉協議会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
田原 純子	チトセ アツコ ラシック	茨城県腎臓病患者連絡協議会
(株) いえつなぎ	茨城県心身障害者福祉協会	富士フイルムビジネスイノベーション ジャパン(株) 茨城支社
茨城県平和大使協議会	千葉 奈穂	匿名(2件)
茨城県福祉部 長寿福祉課		
土浦市、常陸大宮市、鹿嶋市、神栖市、結城市、日立市、城里町、守谷市、桜川市、稲敷市、鉾田市、小美玉市、常総市、阿見町、龍ヶ崎市、五霞町、石岡市の各社会福祉協議会		



世界チョコレートフェスティバル実行委員会様



茨城県遊技業防犯協力会様



(株) セブン-イレブン・ジャパン様



常陽ボランティア倶楽部様



いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918
TEL:029-241-1133(代)
FAX:029-241-1434 E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。
なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。



ホームページ



Facebook